

教科目名 英語 (English)

学科名・学年 : 全学科 2年

単位数など : 必修 4単位 (前期2コマ, 後期2コマ, 学習保証時間 90 時間)

担当教官 : 篠田和男、藤原宏司

| 授業の概要   |  |  |
|---|--|--|
| 1年次に使用したテキスト (Surfing English Course I) の流れを引き継ぎ, 同コース を使用する。授業の構成や進め方は教官によって多少異なるので, 第 1 回の授業オリエンテーションの時間に確認すること。下記の予定で授業を展開するが, 状況に応じてその他の教材やプリント類を使うこともある。 |  |  |
| 到達目標  |  | 大分高専目標 (C2), JABEE 目標 (f)  |
| (1) これまでに学んだ英語に関する基礎力を定着させ, さらに発展させる。<br>(2) この学年では特に語彙力の増大と, 基本的な文法力の完成を目指す。<br>(3) 多種多様な話題の英文に接することで, 国際感覚や一般教養を身につける。                                      |  |  |
| 回   | 授 業 項 目  | 内 容  |
| 1<br>2-4<br>5-9<br>10-13  | 授業オリエンテーション<br>Lesson 1<br>Lesson 2<br>Lesson 3  | 授業の進め方を説明する。<br>強調構文, 現在完了進行形<br>関係副詞 when, 関係代名詞の省略, 関係副詞 where<br>関係代名詞の非制限的用法, seem + to 不定詞, 関係代名詞 what, 助動詞 + 受動態 |
| 14  | 前期中間試験   |  |
| 15  | 前期中間試験の解答と解説   | 自身の理解力を分析し, わからなかった部分を理解する   |
| 16-17<br>18-23<br>24-28   | Lesson 3<br>Lesson 4<br>Lesson 5   | Exercise<br>S + V + 形容詞 + that 節, 分詞構文, 仮定法過去<br>形容詞 + 不定詞, 名詞 + 不定詞 + 前置詞, 過去完了進行形, It seems + that 節                 |
| 29  | 前期期末試験   |  |
| 30  | 前期期末試験の解答と解説   | 自身の理解力を分析し, わからなかった部分を理解する。  |
| 31-37<br>38-43  | Lesson 6<br>Lesson 7   | 完了形の受動態, with + 名詞 + 前置詞句, 関係副詞 where の非制限的用法<br>with + 名詞 + 現在分詞, 進行形の受動態, 未来完了, It is + 形容詞 + whether (if) 節         |
| 44  | 後期中間試験   |  |
| 45  | 後期中間試験の解答と解説   | 自身の理解力を分析し, わからなかった部分を理解する。  |
| 46-50<br>51-56<br>57-58   | Lesson 8<br>Lesson 9<br>For Reading  | 前置詞 + 関係代名詞, (関係代名詞) ...前置詞<br>S + V + O + C + 不定詞, 仮定法過去完了, as if...仮定法過去速読練習   |
| 59  | 後期期末試験   |  |
| 60  | 後期期末試験の解答と解説   | 自身の理解力を分析し, わからなかった部分を理解する。  |
| 履 修 上 の 注 意   | 1年次に比べて難しく量的にも多くなるので, 今までを上回る学習が必要になる。特に予習にしっかりと時間をかけてほしい。定期的の小テストや課題を課すので, 実力をつけるために真剣に取り組むこと。長期休暇にも英語力を維持するための課題を出す。 |  |
| 教 科 書   | 末永國明他, <i>Surfing English Course</i> , 文英堂。  |  |
| 参 考 図 書   |  |  |
| 関 連 科 目   | 英語 LL, 英会話   |  |
| 評 価 方 法   | 定期試験の成績 (80%)。小テスト・課題 (20%) で評価する。また, 欠課時数や授業中の態度により, 評点から 20% を上限として減点する。   |  |